

ISD (免疫抑制剤)

関連文献のご紹介



ACMIA法を用いた血中タクロリムス濃度測定における改良型試薬の開封後安定性

鈴木 嘉治 他
筑波大学病院 薬剤部 他
Organ Biology 22 (3): 68-68, 2015.

新規ACMIA法を用いたタクロリムス血中濃度測定の評価

田淵 祐輔 他
京都府立医科大学附属病院 薬剤部
日本医療薬学会年会講演要旨集(supple.1): 328-328, 2015.

新規ACMIA法を用いたタクロリムス血中濃度測定試薬の基礎的検討

古澤 美由紀 他
東京女子医科大学 泌尿器科 他
医学検査 65巻(suppl): 307-307, 2016.

Dimension タクロリムス試薬(TAC)の改善点及び新たな注意点 - 低濃度域における精密性とEDTAの影響 -

土筆 智晶 他
北里大学病院 臨床検査部 他
医学検査 66 (3): 242-247, 2017.

ACMIA法によるタクロリムス血中濃度測定にEDTA濃度が及ぼす影響 - 改良LOT試薬と従来LOT試薬の比較 -

土筆 智晶 他
北里大学病院 臨床検査部 他
医学検査 68 (3): 514-518, 2019.

タクロリムス血中濃度測定についてACMIA法の基礎的検討

伊藤 将吾 他
JCHO中京病院 検査部
日本臨床検査自動化学会誌 43 (4): 400-400, 2018.

主要代謝産物との交差反応性に着目した血中タクロリムス濃度測定法の比較検討: CLIA、ECLIA、ACMIA、LTIA法の比較

山本 奈々絵 他
九州大学病院 薬剤部
移植 53巻(suppl): 367-367, 2018.

ACMIA法を用いたタクロリムス試薬の性能評価と外部精度管理の必要性

小林 葉子 他
東京女子医科大学病院 中央検査部 他
医学検査 68 (4): 683-690, 2019.

改良されたACMIA法による血中タクロリムス濃度測定試薬の性能の評価

北原 陽一郎 他
独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院
中央検査部
医療検査と自動化 45 (3): 260-263, 2020.

Dimension EXL200によるタクロリムス測定の基礎的検討とTurn Around Timeの評価

島野 志都子 他
東京医科歯科大学医学部附属病院 検査部 他
医療検査と自動化 45 (1): 53-58, 2020.

PETINIA法によるミコフェノール酸血中濃度のEMIT法との比較

石塚 敏 他
東京女子医科大学腎臓病総合医療センター
移植免疫研究室 他
医学検査 61 (6): 996-1001, 2012.

PETINIA法による血中ミコフェノール酸測定試薬の基準測定法LC-MS/MS法との比較

大藪 智奈美 他
神戸大学医学部附属病院 検査部 他
医学検査 69 (1): 36-43, 2020.